

平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社トライアイズ
 コード番号 4840 URL <http://www.triis.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 池田 均
 (氏名) 齋藤 優

TEL 03-3221-0211

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	3,589	△7.4	120	—	196	—	31	—
24年12月期第3四半期	3,874	△19.8	△34	—	△11	—	△81	—

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 39百万円 (—%) 24年12月期第3四半期 △81百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	2.71	2.65
24年12月期第3四半期	△68.04	—

当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株を10株に株式分割しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第3四半期	7,844	6,547	82.6	573.83
24年12月期	7,672	6,736	87.4	566.00

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 6,479百万円 24年12月期 6,704百万円

当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株を10株に株式分割しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	100.00	100.00
25年12月期	—	0.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株を10株に株式分割しております。平成24年12月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,700	△6.7	120	130.8	200	121.7	50	—	4.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株を10株に株式分割しております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式分割後の発行済株式数(自己株式数を除く)により算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期3Q	12,600,000 株	24年12月期	12,600,000 株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	1,307,490 株	24年12月期	753,770 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期3Q	11,485,083 株	24年12月期3Q	12,002,060 株

当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株を10株に株式分割しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株を10株に株式分割しております。これに伴う平成25年12月期の配当予想及び連結業績予想につきましては、該当項目をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、安倍政権の経済政策、いわゆる「アベノミクス」の効果が実体経済へ徐々に波及し、設備投資、雇用情勢、個人消費は着実に持ち直しつつあり、また円安により輸出環境に改善が見られるなど、景気は緩やかに回復しております。一方、世界経済に目を転じれば、米国経済は緩やかな回復傾向にありますが、欧州では金融危機は一服したものの依然実体経済の回復力は弱く、新興国経済は減速が鮮明となってきているなど、世界経済は未だ予断を許さない状況にあります。

このような経済環境のなか、トライアイズグループは、景気変動の影響を受けない企業グループとして、小さくとも知性を使って、その世界ではNo. 1となり光る企業グループを目指すという方針のもと、「イノベーションによるコスト優位の確立」を最重要目標とし、売上が縮小しても黒字化できる体質づくりを行っており、前々期、前期と順調に業績回復を実現することができました。当期につきましても前々期、前期に引き続き、連結ベースでの営業利益・経常利益の黒字化は当然ながら、これらの増益及び最終損益の黒字化を目指しております。

これらの結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は3,589百万円（前年同期比7.4%減）と減収となったものの、原価率の改善と販売費及び一般管理費の更なる削減を実現した結果、営業利益は120百万円（前年同期は34百万円の営業損失）、投資有価証券清算分配金の計上もあり経常利益は196百万円（前年同期は11百万円の経常損失）、税金等調整前四半期純利益は182百万円（前年同期は64百万円の税金等調整前四半期純損失）、四半期純利益は31百万円（前年同期は81百万円の四半期純損失）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は以下のとおりです。

(建設コンサルタント事業)

建設コンサルタント事業においては、東日本大震災復興関連の予算増に加えて、政権交代による受注増の好機と捉えております。一方で、今までの公共事業削減のトレンドに合わせスリム化した体制により業務を確実に遂行できるかが課題となっております。さらに、コスト面においても、継続的に原価率の改善と販売費及び一般管理費の削減活動を行い、売上が縮小しても黒字化できる体質づくりを行っております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,284百万円（前年同期比4.1%減）と微減でしたが、原価率の低減と販売費及び一般管理費の更なる削減を実現した結果、営業利益は160百万円（前年同期は49百万円の営業損失）と大幅に改善しました。

(ファッションブランド事業)

ファッションブランド事業においては、消費マインドに改善の兆しが見られるものの、未だデフレ圧力も根強く残り、個人消費の本格的な回復に至っておりません。そうしたなか当社グループのファッションブランド事業各社は徹底したコスト削減に取り組み、売上が縮小しても黒字化できる体質づくりを行っております。

当社が管理するライセンスビジネスについては、CLATHASブランドのリブランディングに伴う一時的な費用の発生があったものの、ブランドロゴ、ブランドコンセプト等のリニューアルを中心としたリブランディングの効果もあり前年同期を大幅に上回るロイヤルティ収入を確保しました。今後もブランドイメージの向上、ブランド価値の拡大に向け、管理面での強化を進めます。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,304百万円（前年同期比12.6%減）と減収となり、33百万円の営業損失（前年同期は14百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ172百万円増加し、7,844百万円となりました。これは主に、「受取手形及び売掛金」が298百万円、「のれん」が130百万円減少しましたが、「現金及び預金」が625百万円増加したことによるものであります。

第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ361百万円増加し、1,297百万円となりました。これは主に、「支払手形及び買掛金」が88百万円減少しましたが、「前受金」が320百万円、「未払法人税等」が116百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ189百万円減少し、6,547百万円となりました。これは主に、自己株式の取得による146百万円の減少、配当金の支払いに伴う利益剰余金118百万円の減少、四半期純利益計上に伴う利益剰余金31百万円の増加及び新株予約権35百万円の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点において、平成25年7月16日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益又は税引前当期純損失に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,787,206	2,412,620
受取手形及び売掛金	510,154	211,329
有価証券	104,250	104,296
商品及び製品	355,091	381,621
仕掛品	651,762	623,766
原材料及び貯蔵品	53,798	60,715
その他	147,375	103,276
貸倒引当金	△3,634	△2,927
流動資産合計	3,606,004	3,894,699
固定資産		
有形固定資産		
土地	816,737	814,007
その他(純額)	259,975	262,404
有形固定資産合計	1,076,713	1,076,411
無形固定資産		
のれん	933,618	803,427
その他	55,766	57,247
無形固定資産合計	989,385	860,675
投資その他の資産		
投資有価証券	1,787,700	1,787,700
その他	278,452	246,657
貸倒引当金	△65,940	△21,548
投資その他の資産合計	2,000,212	2,012,809
固定資産合計	4,066,310	3,949,896
資産合計	7,672,315	7,844,596

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	243,637	155,188
未払法人税等	28,885	145,454
前受金	401,100	721,694
賞与引当金	3,300	42,182
返品調整引当金	7,390	5,303
受注損失引当金	18,395	16,284
その他	164,694	142,685
流動負債合計	867,404	1,228,793
固定負債		
資産除去債務	22,919	25,381
その他	45,190	42,971
固定負債合計	68,110	68,352
負債合計	935,514	1,297,146
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000,000	5,000,000
資本剰余金	2,069,873	2,070,933
利益剰余金	△222,454	△309,744
自己株式	△143,798	△290,711
株主資本合計	6,703,620	6,470,477
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,320	9,399
その他の包括利益累計額合計	1,320	9,399
新株予約権	31,858	67,573
純資産合計	6,736,800	6,547,449
負債純資産合計	7,672,315	7,844,596

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	3,874,129	3,589,273
売上原価	2,564,933	2,233,026
売上総利益	1,309,196	1,356,247
販売費及び一般管理費	1,343,714	1,235,482
営業利益又は営業損失(△)	△34,517	120,764
営業外収益		
受取利息	1,644	1,094
不動産賃貸収入	14,787	14,787
投資有価証券清算分配金	6,936	63,108
為替差益	5,529	9,907
その他	4,537	4,193
営業外収益合計	33,435	93,089
営業外費用		
支払利息	499	484
不動産賃貸原価	8,212	7,668
事務所移転費用	—	8,229
その他	1,321	1,444
営業外費用合計	10,032	17,827
経常利益又は経常損失(△)	△11,114	196,027
特別損失		
固定資産除却損	1,716	—
減損損失	15,033	7,438
貸倒引当金繰入額	33,846	—
和解金	—	6,000
その他	2,385	—
特別損失合計	52,982	13,438
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△64,096	182,588
法人税等	17,560	151,416
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△81,657	31,171
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△81,657	31,171

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△81,657	31,171
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△282	8,078
その他の包括利益合計	△282	8,078
四半期包括利益	△81,940	39,250
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△81,940	39,250
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	建設コンサル タント事業	ファッション ブランド事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,382,068	1,492,061	3,874,129	—	3,874,129
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,382,068	1,492,061	3,874,129	—	3,874,129
セグメント損失(△)	△49,580	△14,884	△64,465	29,947	△34,517

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額29,947千円には、セグメント間取引消去21,960千円、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用の純額7,987千円が含まれております。全社収益は、主に子会社からの経営指導料であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	建設コンサル タント事業	ファッション ブランド事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,284,907	1,304,366	3,589,273	—	3,589,273
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	146	146	△146	—
計	2,284,907	1,304,512	3,589,419	△146	3,589,273
セグメント利益又は損失(△)	160,850	△33,395	127,455	△6,690	120,764

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△6,690千円には、セグメント間取引消去△8,220千円、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用の純額1,529千円が含まれております。全社収益は、主に子会社からの経営指導料であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。